

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム東大村

作成日: 令和4年12月21日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	令和4年4月に開設したホームで、馴染みの人や場との関係継続の支援はこれからの取り組みと言える。職員が入居者との日々の関わりの中で馴染みの人や場所の情報を把握することが想定され、今後、入居者本人の思い入れのある場所や人との交流に繋げるなど、把握した情報を個別ケアに反映し、関係継続のための支援に取り組むことに期待する。	馴染みの関係性を図る。	入居相談や家族の面会の際には、友人や地域の方々との交流を相談し関わり場面を作る。	12ヶ月
2	35	向法大の関連施設との連携が図れているが、開設から日が浅く、また、コロナ禍ということもあり、今後さらに地域住民との交流を深め、協力体制を構築しながら、災害対策へ取り組むことに期待する。また、自然災害が顕著になっていることを踏まえ、ハザードマップを掲示するとともに、作成中のBCPの運用に向けた訓練実施等、今後の取り組みに期待する。	災害を含め地域との交流を作る。	地域行事への参加を調整する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。